

へんみ ようこ  
逸見 陽子さん

帯広日産自動車株式会社 西16条店 店長

1961年生まれ、帯広市出身。結婚、出産後に同社へ入社。当初はショールームレディとして勤務していたが、女性課長の一言で営業へ。その後、帯広日産では初めての女性マネージャー、副店長を経て北海道内では女性初の店長となる。2016年から現職。



## 志は曲げない、ブレないこと！

### きっかけ

当時はパートの仕事をしていたのですが、幼い子どもを育てるため正社員で働きたいと考えていたところ、知人から当社で社員を募集しているとの話を聞きました。知人からは「何でもやります！」と答えれば大丈夫だからと言われ、それを信じて面接を受けたところ採用していただくことに。今だからできるお話ですが、どうしても正社員になりたいという思いは強かったのですが、志高く帯広日産に就職したいという訳ではなかったんです。

初めはショールームレディとしてお客様対応が主な業務で、同じお給料を貰っているのにこれだけで良いのかと次第に疑問を抱くようになり、掃除など出来ることは何でもやるように心がけました。

### 苦勞

私を評価してくれた女性課長の下で、“車を売る、目標を達成する”という営業のノウハウを教わりました。とても大変でしたが、目標となる上司に出会えたこと、まだ小さかった子どもの保育園の送迎など支えとなってくれた身内がいなければ、今の私はなかったと思いますし、最高の環境をつくってくれていたんだと思っています。

帯広日産と釧路日産の合併による人材交流では、店長の実績がある私が釧路の一番大きな店の店長を任されたのですが、体制や考え方の違いに戸惑いながらも“人との繋がり”を大切に、素晴らしいスタッフに支えられて、より良い成果に繋げることができました。ただ大変でしたので、今までに何百回も辞めようと思いましたが(笑)

### 満足度

帯広日産は、以前から女性が活躍していたということもあり、女性だからということで評価に差別は無く、みんな同じように厳しく育ててもらえたということが素晴らしいと思います。

あまりよく分からなかった営業という仕事も、頑張れば結果に繋がるというところ、当然そこにはお客様がいらっしゃって、喜んで購入してもらえる、その橋渡しが仕事なんだということが分かったときに楽しく思えてきました。失敗も沢山しましたが。

先ほどもお話ししました釧路時代は本当に大変でしたが“人は人で動く”ということを学んだことが、私にとってはとても大きな財産であり、ここでの経験が今の私を形づくっていると思います。

### これから

今まで育てていただいた恩返しと言うと生意気かもしれませんがこれからの私のテーマは「人を育てる」です。一人でも二人でも育て上げることに、残されている時間を使うつもりです。そのためには成果を出さなければなりませんし、目標を成し遂げなければなりません。そういう諦めない姿勢を見せることにより、会社を次の世代に繋げていけるのではと思っています。それが私の役目だと考えています。

大きな志のためであれば、小さなプライドは捨てる。悪いときは素直にすぐに謝る。でも、志は曲げない、ブレないことを心がけて、これからも目標に向かって邁進していきたいと思っています。

後進を育てる立場として気を付けていることは、真正面にその人と向き合うことだと思っています。きちんと注意できなければダメだし、ちゃんと想いを持って伝えています。

もう一つ、いつまでも根に持たないこと。その後は笑えるような環境づくりに努めています！